

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○鎌田樹寛 木村恵

【概要】

本講義は、DP4に該当する科目である。具体的には、職業リハビリテーションの国際的背景、我が国の職業リハビリテーション施策の特徴、キャリア発達の理論、就労支援の現状と実際について学修する。加えて、就業援助に関わる作業療法（士）の役割について理解する。

【学習目標】

職業リハビリテーションの国際的背景や理念を踏まえ、わが国の施策の特徴や課題、キャリア発達の理論を概説できることや、就労支援の実際（障害特性ごと）に対する作業療法や作業療法士の役割について、説明できることを目標とする。

1. 職業リハビリテーションに関する国際的な理念・歴史を説明できる。
2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を説明できる。
3. キャリア発達の理論を説明できる。
4. 日本の就労支援の課題が説明できる。
5. 職業リハビリテーションにおいて、作業療法士の役割を説明できる。
6. 障害特性から見た就労支援の特徴を説明できる。
7. 関連施設の役割が説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	就労支援の知識（1）	1. 職業リハビリテーションの国際的な理念・歴史や動向を学ぶ。 2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を学ぶ。	鎌田樹寛
2	就労支援の知識（2）	キャリア発達の理論について学ぶ。	鎌田樹寛
3	就労支援の知識（3）	日本の就労支援の現状について学ぶ	鎌田樹寛
4	職業リハビリテーションと作業療法	職業リハビリテーションでの作業療法士の役割について学ぶ。	鎌田樹寛
5	就労支援の実際（1）	障害特性（発達障害）から見た支援の実際について学ぶ。	木村恵
6	就労支援の実際（2）	障害特性（精神障害）から見た支援の実際について学ぶ。	鎌田樹寛
7	就労支援の実際（3）	障害特性（身体障害・高次脳機能障害）から見た支援の実際について学ぶ。	鎌田樹寛
8	施設見学とまとめ	障害者が対象となる「雇用促進法」該当支援機関例として、北海道障害者職業能力開発校（砂川市）の役割について学ぶ。	木村恵

【評価方法】

レポート50% : 1課題を予定する。
試験 50%

【備考】

教科書 : 特に指定しない（適宜資料を配布する）。

参考書 : 能登真一 編 他 「作業療法評価学第3版」 医学書院 2017年
平賀昭信 岩瀬義昭 編 作業療法全書 「職業関連活動」 協同医書出版社 2009年
松為信雄 菊池恵美子 編 「職業リハビリテーション学（改訂第2版）」 協同医書出版社 2006年
その他必要があれば、講義の中で紹介する。

【学習の準備】

上記参考書や地域作業療法の教科書で、「就労支援に関する章」を予め読んでおくこと（予習・復習各80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

鎌田樹寛（作業療法士）、木村 恵（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験（精神障害・発達障害・地域等）を踏まえ、リハビリテーションや作業療法の基盤理念の下に、科学的根拠に基づく知識を伝達する。